

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	25 (12)	ご本人の思いをより尊重した計画が位置づけられていない。	センター方式を上手く活用し、生活歴や暮らしの情報を収集していき、ご本人が頑張れるという意欲が持てる計画作りを行う。	ご本人やご家族の情報や思いをきちんと聞き取り、ご本人の状態を整理する。目標に位置づける際には、より思いに添えるように、スタッフ間の意見も調整する。その旨、センター方式やアセスメントの取り方を定期的に勉強する。	12ヶ月
2	51 (21)	外出の機会が減ってきている。	遠出や行事に位置づけた計画以外でも、その日の天候や状況により、短時間でもホームの外に出る機会を増やしていく。	普段の生活の中で、外気浴や馴染みの商店街まで散歩に行く機会を増やしていく。外の刺激を受けることで意欲の向上に繋がるような、支援を心掛けていく。地域の方との交流も広げていく。状態によりプランの目標に位置付け、スタッフの意識付けを行っていく。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。